

図書を活用した授業（探究型授業）

調べるって
楽しいね。



情報ボックス・学年ボックス



情報ボックスには、テーマごとにパンフレットやリーフレット、新聞記事のスクラップなどを蓄積し、授業で活用しています。

学年ボックスには、次年度の児童が、それぞれの単元のゴールを見据えて学習を進めることができるようにするために、探究型授業での成果物（スキャンして印刷したもの）を残しています。

「調べるの達人」の掲示

グラフを読み取る

- ① グラフのタイトルを読む
- ② 縦軸と横軸の単位を確認する
- ③ 全体的にどのように変化しているかを読み取る
- ④ 変化は、どこが大きくて、どこが小さいかを読み取る
- ⑤ 変化している理由を考える
- ⑥ このグラフからいえることを、一言でまとめる



新聞記事を読み取る

- ★ 新聞記事の構造を知る
- ・「見出し」＝伝えたいこと
 - ・「リード」＝記事の内容のまとめ
 - ・「本文」＝記事を詳しく説明
- ① 見出しから伝えたいことを読む
 - ② リードを正確に読んで読む
 - ③ 本文を事実と意見に分ける



写真を読み取る

- ① 全体の様子からわかることは何か。
- ② 人物や物に注目すると何がわかるか。
- ③ 「なぜ、どうして」と思ったことや他のことと関連づけて考えられることはいくつか。



ポスターを読み取る

- ① 書いてある内容を読む。
- ② ①の、どこで、何をすることを伝えようか。
- ③ ②の目的や意図は何か。
- ④ ③の目的に、なぜこんなことをするの、か。



意見文の書き方

- 意見のもとになる事実と自分の感想や意見を区別して書く。
- ① はじめ
 - ② 本文
 - ③ 結



依頼の手紙の書き方

- ① 前文
- ② 本文
- ③ 結
- ④ 後文



児童の主体的な学びが実現できるように、グラフや写真などの読み取り方、意見文や依頼文の書き方などの調べ学習の方法を、図書室の学習コーナーに掲示しています。

授業の様子

うまくいかないな。どうしたらいいかな。



学習コーナーでの様子



図書室の学習コーナーでは、調べ学習で使用する情報ボックスや学年ボックス、自然科学や社会などの本を分野別にして配架しています。本の種類が低学年の児童にも分かるように、本棚の上には、分野ごとの表示をイラスト入りで示しています。

学校司書との連携



公立図書館との連携



もう一度、本を読んでみよう。



図書資料を活用して、児童が主体的な学習を進めていけるようにしています。児童は設定した課題に沿って知りたい情報を収集したり、友達と意見を交流したりしていくなかで学習を深め、自分の課題を解決していきます。

広島市立図書館の利用カードを各学年で作っています。「団体貸出」で、50冊まで、期間は1か月間借りることができます。また、広島市こども図書館の調べ学習に役立つ「学校支援図書セット」や同じ図書を数冊借りる「読み物セット」を利用しています。皆実小学校は近くに南区図書館があり、2年生が公共施設の役割や利用の仕方について学習するために、毎年見学に行っています。学校司書の先生は、授業で使いたい本を用意してくださったり、子どもたちの相談にのってくださったりと、とても心強い味方です。